

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

|         |  |
|---------|--|
| 研究課題番号  | 4RB-2402                                       |
| 研究課題名   | 海鳥類の高密度繁殖地における個体数推定法の革新：ドローン・バイオロギング・深層学習の統合研究 |
| 研究実施期間  | 2024（令和6）年度～2026（令和8）年度                        |
| 研究代表機関名 | 名古屋大学  |
| 研究代表者名  | 井上漱太   |

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

本課題は、離島に集まり繁殖する海鳥の持続可能で精度の高いモニタリング手法として、ドローン・バイオロギング・深層学習を統合した個体数推定法を開発するもので、実用性の高い取り組みであり、新規性が高いといえる。本研究により、個体数モニタリングの大幅な省力化・精度向上・攪乱抑制と、今後のモニタリングの充実や保全策への貢献が期待できる。とはいえ、発見率の推定については、GPS 装着個体が24羽と少ないため、確度については課題が残されている。今後行われる予定の個体数と環境との関連性（例えば、海面温度など）が明らかになることを期待したい。また、本課題のアウトカムとして、行政担当者でも活用できるようなフルオートメーション化までの課題を整理していただきたい。